

名古屋市への発達障害者支援センター 設置に関する当事者からの提案書

- ・ N P O 法人 アスペ・エルデの会
- ・ 学習障害児・者 親の会かたつむり
- ・ T E A C C H プログラム研究会愛知支部
- ・ 社団法人 日本自閉症協会愛知県支部

平成 1 7 年 7 月 2 8 日

この提案書について

この提案書は、名古屋市発達障害者支援センターの設置に伴い、当事者が求める支援センターの姿を具体的に名古屋市へ伝えることを目的としたものです。平成17年4月10日から5月8日の期間、(社)日本自閉症協会愛知県支部が主催した提案会議(呼称:マイ支援センター提案会議)において、名古屋市内で発達障害者支援に関わる各団体との協働により作成されました。

すなわち、様々な発達障害の当事者(親・本人・支援者)のニーズを網羅した提案書です。

提案のひとつ、ひとつが、当事者を、日々の重圧や苦しみから救うことを願って、つくり上げられており、また、発達障害者支援センターへの期待と希望が込められています。そして私たちは、この提案書が実現した時にこそはじめて、自閉症・発達障害をもつ本人が、安心してしあわせに暮らせる名古屋市になると信じています。

どうか本提案書を真摯に受けとめ、発達障害者本人と家族、支援者が置かれている現状をご理解いただき、生涯に渡る支援体制の整備推進及び、その中核となる「名古屋市発達障害者支援センター」を実現していただくようお願い申し上げます。

本提案書の作成に携わった団体名(順不同)

- ・NPO法人 アスペ・エルデの会
- ・学習障害児・者 親の会かたつむり
- ・TEACCHプログラム研究会愛知支部
- ・社団法人 日本自閉症協会愛知県支部

本提案書作成のプロセス、及び名古屋市発達障害者支援センター設置に関する要望書等については、ホームページ上でご覧いただけます。

- ・(社)日本自閉症協会愛知県支部(通称:つぼみの会)公式ホームページ
[NASプロジェクト活動報告ページ]
<http://homepage2.nifty.com/tubomi-aichi-autism/NAS/index.html>

【つぼみの会NASプロジェクト】

= Tubomi Nagoya City Autism & Developmental Disorder Supprot Center **Project Team**
の略

1 . 名古屋市発達障害者支援センターの基本理念

当事者のニーズに応え、生涯に渡る一貫した支援を実現するため、
地域を育て、サポート資源を発掘し、つなぎあわせる
「連携」の中心となり、
自閉症・発達障害をもつ本人が、安心してしあわせに
暮らせる名古屋市にする。

2. 名古屋市発達障害者支援センターの基本的な役割

当事者のニーズに応え、生涯に渡る一貫した支援を実現するため、必要とされる支援センターの基本的役割は以下の4つに集約される。

(7頁以降で詳しく提案)

1) 情報発信

一般公開用の情報発信としてHPを活用
利用できる資源・サービスに関する最新の状況を発信
短期、中期レベルの支援センターの計画内容、進捗状況の公開(自己評価)
関連機関、学校などの取り組み状況を公開(第三者評価)

・
・

2) 関連機関との連携(コーディネート)

グループウェア導入による情報一元化、効率化、ノウハウ蓄積
誰でも使えるアプリケーションの作成
ケースカンファレンスの「場」を設定(支援の入り口であり、最後の砦)
ボランティアネットワークの構築
支援施策の立案、実行
IEP、IHPなどの支援プログラム(マニュアル)の作成・推進
資源の掘り起こし

・
・

3) 人材育成・リソースセンター(専門家のための専門機関)

研修の企画、実施
支援プログラムの研究、施策立案
巡回指導
専門職を指導する専門家の育成
人材バンク

・
・
・

4) 市民への啓蒙啓発

地域への理解推進
子ども向け読み物発行
学校への普通学級向け授業の提供
企業向け研修

・
・
・

3. 実効性ある支援センター運営の人材確保に関する提案

支援センターの職員には、自閉症・発達障害の障害特性・サポートに関する専門知識はもちろんのこと、福祉、教育、就労、権利擁護、各分野の専門知識、及びITを活用した総合的なコーディネート能力が必要となります。

以上のことから、支援センターを真に実効性あるものにするためには、適切な人材の確保は必須であり、支援センターの職員採用にあたっては、次のような条件を満たすことをご提案します。

1) 支援センターの正職員には、熱意と経験のある人を採用する。

犯罪被害、虐待など、権利擁護に関するケースについては、どんな相手とも正面から立ち向かうことができる勇気と熱意、経験のある人材を採用する。

2) 「スペシャリスト」として、教育・就労・福祉・医療など、分野別の専門性とコネクションをもつ人を採用する。また、名古屋市内外から広く人材を求め、公募や関係団体などからの適切な推薦もあわせて実施する。

(資格に関する例)

養護学校教諭、就労支援経験者、社会福祉士、心理士など

(人物像に関する例)

企業への雇用推進、教育現場への指導など、経験により培ったコネクションを活かしながら、自らのスペシャリストとしての力量をベースに、現場へスムーズに効果を波及できる人物を採用する。

3) 一流の人を雇うための処遇の改善

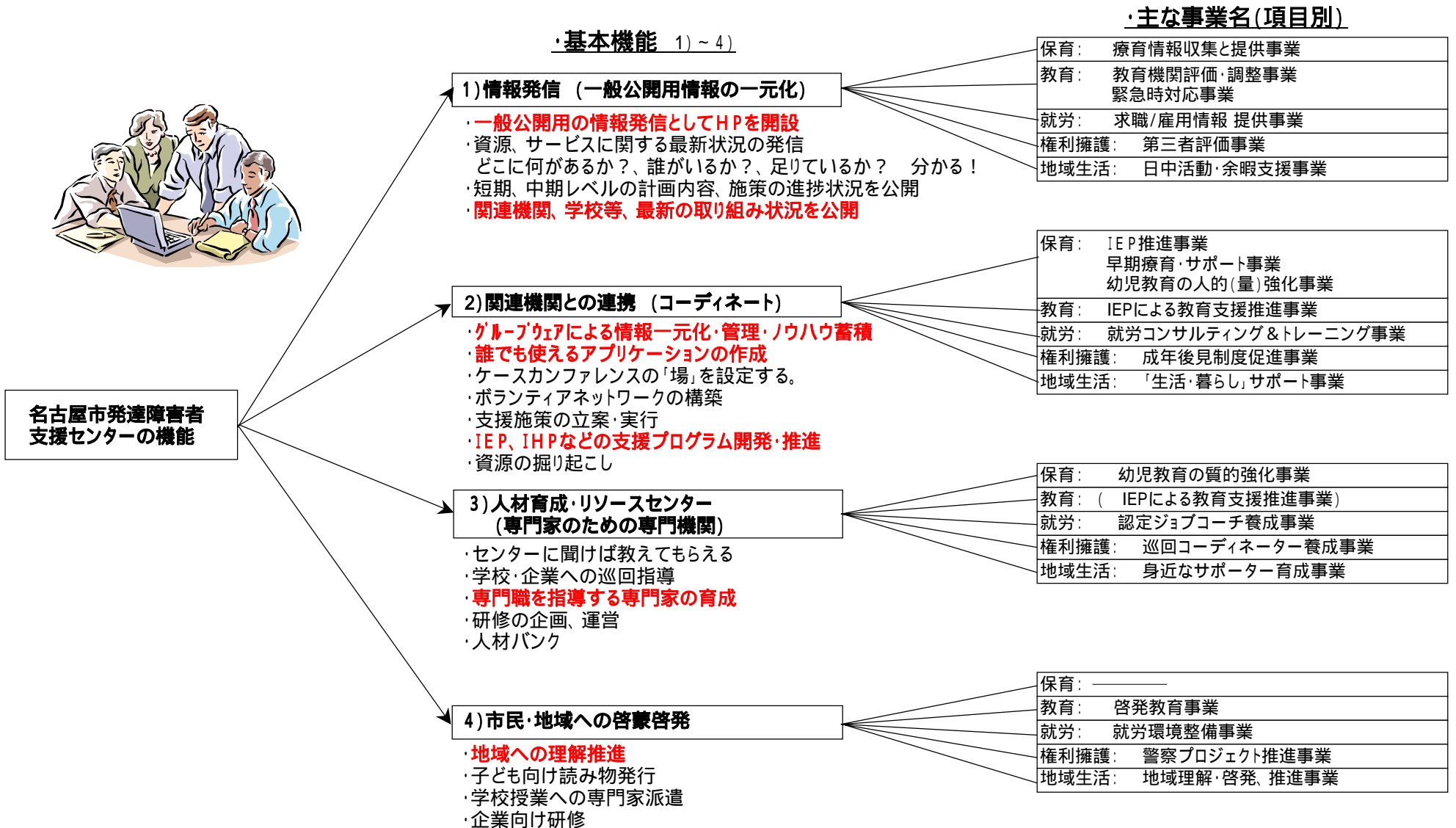
昨今、他の自治体においては、日本全国から一流のスペシャリストを招集し福祉改革に取り組み一定の成果をあげている。一流の有能な人材を確保することは極めて重要であり、

そのために、魅力的なやりがいのある仕事はもちろんのこと、相応な処遇の確保が必要となることから、一流の人を雇うための処遇改善に努める。

4. 名古屋市発達障害者支援センターの機能概略図、 事業名

当事者が望む名古屋市発達障害者支援センターの機能概要

当事者ニーズを基にした名古屋市発達障害者支援センターの全体機能の概要は以下のとおり。



5. 名古屋市発達障害者支援センターの項目別事業 内容詳細